

## 法学研究科（博士課程前期課程）

### 1. 前文

神戸大学大学院法学研究科法学政治学専攻は、開放的で国際性に富む文化の下、体系的な教育課程を通じ高度に専門的な法学・政治学の知識を提供することによって、法学・政治学の領域の研究者を養成すること、高度化・複雑化する現代社会において専門知識を用いて問題を解決する能力を持つ職業人を養成すること、急速に変化する社会において新しい問題に直面している社会人・職業法曹に対し継続教育を行うことを目的とする。

この目的の達成に向け、倫理観・責任感を持って研究を遂行できるよう、国際的に卓越した教育を提供し、それぞれのプログラムに関する以下の方針に従って、学位を授与する。

法学研究科博士課程前期課程には、研究者養成プログラム、高度社会人養成プログラム、グローバルマスタープログラム（GMAP）、法曹リカレントプログラムが置かれている。本研究科が各プログラムに掲げている教育目的は次のとおりである。

#### 1-1 研究者養成プログラム

日本内外の大学等の研究・教育機関において研究・教育に従事する、次世代の研究者を養成することを目的とする。

#### 1-2 高度社会人養成プログラム

昨今の国内外社会の急速な情報化、高度化、流動化に伴い、社会における問題も多様化、複雑化していることを受けて、学部段階以上の法学・政治学の知識の会得、問題解決能力の涵養を目的とする。

#### 1-3 グローバルマスタープログラム（GMAP: GMAP in Law）

国際ビジネスの世界では、専門知識に加えて、すべて英語で仕事をこなすことが求められる。このプログラムは、専門教育に加えて、英語での実務的能力を育成し、国際ビジネス法律家として社会で活躍できる人材の育成を目的とする。

#### 1-4 法曹リカレントプログラム

職業法曹等の資格を有する者を受け入れ、専門的・先端的な領域における教育と研究を通じ、より専門性の高い分野で活躍できる人材の育成と継続教育を目的とする。

### 2-1 学位：修士（法学）・修士（政治学） DP

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、法学研究科は以下に示した方

針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科に2年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得すること。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間を短縮して修了することができる。
- ・修了までに次の学修目標を達成すること。

#### 2-1-1 研究者養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、国内外の大学等の研究・教育機関において法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としての基礎的な能力を有する。

#### 2-1-2 高度社会人養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、現代社会の変化によって生じている新たな法および政治上の問題に対する応用的・実地的・総合的な解決能力を有するとともに、学部段階よりも高度な法学・政治学の知識を有し、豊かな問題解決能力を有する。

#### 2-1-3 グローバルマスタートッププログラム (GMAP)

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、国内外のビジネス界において英語で法律実務・ビジネス実務に従事する能力を有する。

#### 2-1-4 法曹リカレントプログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、より専門的・先端的な法分野で活躍できる職業法曹としての能力を有する。

### 3-1 学位：修士（法学）・修士（政治学）CP

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、法学研究科は以下に示した方針に従ってカリキュラムを編成する。また、指導教員による個別指導に加え、プログラム・分野毎の集団指導体制を取り入れることにより、高度な専門性の上に立った領域横断的な研究を行う能力を体系的に育成する。

#### 3-1-1 研究者養成プログラム

特殊講義・外国文献研究を通じて、国内外の大学等の研究・教育機関において法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としての基礎的な能力を修得する。演習を通じて、修士論文を執筆するための研究指導を受ける。

#### 3-1-2 高度社会人養成プログラム

特殊講義・外国文献研究を通じて、現代社会の変化によって生じている新たな法および政治上の問題に対する応用的・実地的・総合的な解決能力を修得する。演習を通じて、修士論文またはリサーチペーパーを執筆するための研究指導を受ける。

### 3-1-3 グローバルマスタープログラム (GMAP)

社会科学基礎科目を通じて、法学・経済学・経営学の基礎的学力を習得する。法律英語入門科目を通じて、英語読解能力および英会話能力を習得する。選択科目を通じて、国際ビジネス法の理論的および実践的問題を幅広く検討し、理解する。実務実習（海外インターンシップ）を通じて、英語で法律実務・ビジネス実務に従事する能力を習得する。演習を通じて、修士論文またはリサーチペーパーを執筆するための研究指導を受ける。

### 3-1-4 法曹リカレントプログラム

特殊講義・外国文献研究を通じて、より専門的・先端的な法分野で活躍できる職業法曹としての能力を修得する。演習を通じて、修士論文またはリサーチペーパーを執筆するための研究指導を受ける。

## カリキュラムマップ

・GMAP以外のプログラム

		1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
人間性	社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力	方法論特殊講義	方法論特殊講義	方法論特殊講義	
創造性	複眼的に思考する能力	演習 (論文指導)	演習 (論文指導)	演習 (論文指導)	演習 (論文作成)
国際性	世界の法学・政治学分野の研究理解力 外国語での論文刊行能力	外国文献研究	外国文献研究	外国文献研究	
専門性	法学・政治学分野の先進的な専門知識	特殊講義	特殊講義	特殊講義	特殊講義

・GMAP

		1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
人間性	他の人と協働して課題解決にあたる能力	模擬仲裁	模擬仲裁		
	外国において現地の人と協働して実務につく能力	実習科目	実習科目	実習科目	実習科目
創造性	複眼的に思考する能力				演習 (論文作成)
国際性	法学・政治学の外国語文献の読解能力及び会話能力	Introduction to Legal English	Introduction to Legal English	Introduction to Legal English	Introduction to Legal English
		Advanced Legal English	Advanced Legal English	Advanced Legal English	Advanced Legal English
専門性	専門知識を議論し、発表する能力	外国人招聘講義	外国人招聘講義	外国人招聘講義	外国人招聘講義

## 法学研究科（博士課程後期課程）

### 1. 前文

神戸大学大学院法学研究科法学政治学専攻は、開放的で国際性に富む文化の下、体系的な教育課程を通じ高度に専門的な法学・政治学の知識を提供することによって、法学・政治学の領域の研究者を養成すること、高度化・複雑化する現代社会において専門知識を用いて問題を解決する能力を持つ職業人を養成すること、急速に変化する社会において新しい問題に直面している社会人・職業法曹に対し継続教育を行うことを目的とする。

この目的の達成に向け、倫理観・責任感を持って研究を遂行できるよう、国際的に卓越した教育を提供し、それぞれのプログラムに関する以下の方針に従って、学位を授与する。

法学研究科博士課程後期課程には、研究者養成プログラム、高度社会人養成プログラム、高度専門法曹養成プログラムが置かれている。本研究科が各プログラムに掲げている教育目的は次のとおりである。

#### 1-1 研究者養成プログラム

前期課程又は専門職学位課程修了後に、各専攻領域において対象を更に深化させる研究及び総合的な法学・政治学の知識、問題解決能力を学生に伝える教育を行い得る能力の養成を行う。

#### 1-2 高度社会人養成プログラム

前期課程又は専門職学位課程において行った研究や学修を踏まえて、高度化・多様化する社会における法学・政治学上の諸問題を主体的に解決し得る能力の育成を行う。

#### 1-3 高度専門法曹養成プログラム

弁護士等を対象とし、実務家教員及び研究科教員による授業と論文指導を通じ、高度の実務的専門性を体系的に身に付け国際的競争力のある法律家を養成することを目的とする。

### 2-1 学位：博士（法学）・博士（政治学） DP

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、法学研究科は以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科に3年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得すること。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間を短縮して修了することができる。
- ・修了までに次の学修目標を達成すること。

### 2-2-1 研究者養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、法学・政治学の各専攻領域において研究をさらに深化させ、法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者として、より高度な能力を有する。

### 2-2-2 高度社会人養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、高度化・多様化する社会における法学・政治学上の諸問題に対応しうる、より高度な問題解決能力を有する。

### 2-2-3 高度専門法曹養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、極めて専門的・先端的な法分野で活躍できる法律家としての高い能力を有する。

## 3-1 学位：博士（法学）・博士（政治学）CP

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、法学研究科は以下に示した方針に従ってカリキュラムを編成する。また、指導教員による個別指導に加え、プログラム・分野毎に集団指導体制を取り入れることにより、高度な専門性の上に立った領域横断的な研究を行う能力を体系的に育成する。

### 3-2-1 研究者養成プログラム

特殊講義・外国文献研究を通じて、法学・政治学の各専攻領域において研究をさらに深化させ、法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としてより高度な能力を修得する。演習を通じて、博士論文を執筆するための研究指導を受ける。

### 3-2-2 高度社会人養成プログラム

特殊講義・外国文献研究を通じて、高度化・多様化する社会における法学・政治学上の諸問題に対応しうるより高度な問題解決能力を修得する。演習を通じて、博士論文を執筆するための研究指導を受ける。

### 3-2-3 高度専門法曹養成プログラム

特殊講義を通じて、極めて専門的・先端的な法分野で活躍できる法律家としての能力を修得する。演習を通じて、博士論文を執筆するための研究指導を受ける。

## 法学研究科実務法律専攻専門職学位課程（法科大学院）

現在のわが国における職業法曹教育においては、量的拡大と質的向上の両面が求められている。特に、社会の多様化、高度技術化、国際化、および、市場化が進む中で、わが国の社会は、質的に高い能力を有する多数の職業法曹を必要としている。そのため、神戸大学大学院実務法律専攻は、以下に述べるような2つの教育上の理念・目的を掲げる。

第1の目的は、すべての法曹に必要な基本的な知識と豊かな応用能力を有する職業法曹を養成することである。法曹が専門職業人である以上、そこに共通に必要とされる膨大な知識があることは当然であり、本学法科大学院においては、そのような知識を十分に有していることを前提として、さらに、その有する知識を多様な現実社会において妥当させる豊かな応用力のある職業法曹を養成することを目的とする。

第2の目的は、上記のような基本的な法領域に関する知識に加えて、ビジネス・ローと呼ばれる広義の企業取引に関わる先端的分野について、特に深い知識と応用能力を有する職業法曹を養成することである。社会の高度技術化、市場化が進む中で、各種の経済取引は複雑化し、それをめぐる法的紛争も必然的に非常に複雑かつ高度なものとなっている。本学法科大学院は、多岐にわたる法分野で充実した教育を提供し、このような法的紛争に対応しうる人材の育成を行うことを目的とする。

これらの目的の達成に向け、高度な専門能力・知識を身につけられるよう、先端的な研究に裏打ちされた、国際的に卓越した教育を保証し、以下に示す方針にしたがって法務博士の学位を授与する。

### 学位：法務博士（専門職）

#### ・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、法学研究科実務法律専攻は以下に示す方針にしたがって当該学位を授与する。

- ・法学研究科専門職学位課程に所定の期間在学し、修了に必要な単位を修得すること。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、職業法曹を目指す者として、修了までに次の学習目標を達成すること。
  - ・すべての法曹に必要な基本的な知識およびこれを基盤とした応用能力を有する。
  - ・ビジネス・ローを中心とした先端的法分野についての知識およびこれを基盤とした応用能力を有する。
  - ・法曹として求められる高い倫理感を有する。
  - ・新たな問題事象に対して、これまでの法的思考を継承しながらも、それを批判的・創造的に発展させて問題を解決する能力を有する。
  - ・多様な考え方や異なる文化の存在を踏まえ、社会の多元性を尊重して問題を解決する能力を有する。

#### ・教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、法学研究科実務法律専攻は以下に示す方針にしたがってカリキュラムを編成する。

- ・人間性：法曹として求められる高い倫理感を身につけることができるよう、対話型演習法曹倫理を開設する。
- ・専門性：すべての法曹に必要な基本的な知識を身につけることができるよう、法律基本科目（必修）および実務基礎科目（必修）を開設することに加え、これらの知識を基盤とした応用能力や、ビジネス・ローを中心とした先端的法分野についての知識およびこれを基盤とした応用能力を身につけることができるよう、必修科目以外の法律基本科目・実務基礎科目の

ほか、展開・先端科目，R & Wゼミを開設する。

- 創造性：新たな問題事象に対して、これまでの法的思考を継承しながらも、それを批判的・創造的に発展させて問題を解決する能力を身につけることができるよう、展開・先端科目，R & Wゼミ，法律理論研究科目を開設する。
- 国際性：多様な考え方や異なる文化の存在を踏まえ、社会の多元性を尊重して問題を解決する能力を身につけることができるよう、展開・先端科目，基礎法学・隣接科目を開設する。



カリキュラム・マップ

	修了までに達成すべき学習目標	1L	2L	3L		
人間性	法曹として求められる高い倫理観		対話型演習法曹倫理			
専門性	職業法曹として必要な高度の専門能力・知識の修得	すべての法曹に必要な基本的知識	憲法基礎, 行政法基礎, 民法基礎Ⅰ, 民法基礎Ⅱ, 民法基礎Ⅲ, 民事訴訟法, 会社法, 刑事実体法Ⅰ, 刑事実体法Ⅱ, 刑事手続法, 法解釈基礎Ⅰ, 法解釈基礎Ⅱ	対話型演習憲法訴訟Ⅰ, 対話型演習行政法Ⅰ, 対話型演習行政法Ⅱ, 対話型演習契約法Ⅰ・不法行為法, 対話型演習契約法Ⅱ, 対話型演習物権・責任財産法, 対話型演習商法Ⅰ, 対話型演習商法Ⅱ, 対話型演習刑事実体法Ⅰ, 対話型演習刑事手続法	対話型演習家族法, 対話型演習民事訴訟法, 対話型演習刑事実体法Ⅱ, 対話型演習憲法訴訟Ⅱ, 対話型演習民事法総合	
		基本的な知識を基盤とした応用能力		応用民事訴訟法A, 応用民事訴訟法B, 対話型演習民事裁判実務, 対話型演習刑事手続実務, 法律文書作成演習Ⅰ, 法律文書作成演習Ⅱ	応用刑事手続法, 商取引法, ローヤリング, エクスターンシップ, 公法系訴訟実務基礎, 民事裁判演習, 実務刑事法総合, 刑事裁判実務, 法律文書作成演習Ⅲ, ワークショップ経済法実務, R&Wゼミ刑事実務, R&Wゼミ企業法務	
		先端的法分野についての知識および応用能力			ワークショップ企業内法務	
					R&Wゼミ知的財産法, R&Wゼミ租税法, R&Wゼミ労働法, R&Wゼミ経済法, R&Wゼミ倒産法, R&Wゼミ国際関係法(私法系), R&Wゼミ環境法	
創造性	新たな問題事象に対して、これまでの法的思考を継承しながらも、それを批判的・創造的に発展させて問題を解決する能力		倒産法Ⅰ, 経済刑法, 特許法, 著作権法, 租税法Ⅰ, 租税法Ⅱ, 労働法Ⅰ, 労働法Ⅱ, 経済法Ⅰ, 経済法Ⅱ, 消費者法, 環境行政法, 環境訴訟, 社会保障法	民事執行・保全法, 倒産法Ⅰ, 倒産法Ⅱ, 刑事学, 金融商品取引法, 経済刑法, 特許法, 著作権法, 租税法Ⅰ, 租税法Ⅱ, 労働法Ⅰ, 労働法Ⅱ, 経済法Ⅰ, 経済法Ⅱ, 消費者法, 環境行政法, 環境訴訟, 社会保障法, 先端実務租税法判例・事例研究, 先端実務独占禁止法判例・事例研究, 先端実務知的財産法判例・事例研究, 法学研究論文演習		
国際性	多様な考え方や異なる文化の存在を踏まえ、社会の多元性を尊重して問題を解決する能力		国際法, 国際人権法, 国際経済法, 国際私法・国際民事訴訟法, 国際取引法, ADR論, 社会保障法, 法文化, 法思想, アメリカ法, ヨーロッパ法, アジア法, 中国法, 現代司法論	比較憲法, R&Wゼミ法社会学		